

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
21132	雨水排水ポンプ場等運転管理事業	公営企業局	下水浄化センター	シートA	2
51311	中央浄化センター建設事業	公営企業局	下水浄化センター	シートB	3
51311	西部浄化センター建設事業	公営企業局	下水浄化センター	シートB	5
51311	北部浄化センター建設事業	公営企業局	下水浄化センター	シートB	7
51311	北条浄化センター建設事業	公営企業局	下水浄化センター	シートB	9
51311	汚水中継ポンプ場建設事業	公営企業局	下水浄化センター	シートB	11
51311	雨水排水ポンプ場建設改良事業	公営企業局	下水浄化センター	シートB	13
51312	農業集落排水処理施設運転管理事業	公営企業局	下水浄化センター	シートA	15
51312	中央浄化センター運転管理事業	公営企業局	下水浄化センター	シートB	16
51312	西部浄化センター運転管理事業	公営企業局	下水浄化センター	シートB	18
51312	北部浄化センター運転管理事業	公営企業局	下水浄化センター	シートB	20
51312	北条浄化センター運転管理事業	公営企業局	下水浄化センター	シートB	22
51312	運転管理事務事業	公営企業局	下水浄化センター	シートA	24
51312	中央浄化センター消化ガス発電事業	公営企業局	下水浄化センター	シートB	25

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	維持管理担当	連絡先	922-2855			
	部等長名	花山 康司	課等長名	森賀 友博	リダー名	主幹	高橋 信也	担当者名	副主幹	富永 洋希	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	維持管理担当	連絡先	922-2855			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	森賀 友博	リダー名	主幹	高橋 信也	担当者名	主査	富永 洋希	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	雨水排水ポンプ場等運転管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	ポンプ場や雨水幹線を整備し、浸水被害の軽減を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第3条第1項					
事業の目的(どのような状態にするか)	雨水排水ポンプ場等の維持管理を適正に行い、大雨による浸水被害を防ぎ、快適な生活環境を確保することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	令和3年度に上下水道部門が組織統合したことに伴い、雨水排水ポンプ場等の17施設を新たに下水浄化センターで維持管理することになった。(令和2年度までは下水道サービス課で所管【一般会計】)					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象施設(17施設):朝生田雨水排水ポンプ場、和泉雨水排水ポンプ場、西石井雨水排水ポンプ場、文京町ポンプ場、大可賀雨水排水ポンプ場、中須賀第1雨水排水ポンプ場、中須賀第2雨水排水ポンプ場、三津浜雨水排水ポンプ場、明神川雨水排水ポンプ場、和気第1雨水排水ポンプ場、和気第2雨水排水ポンプ場、和気第3雨水排水ポンプ場、馬木ポンプ場、勝岡雨水排水ポンプ場、堀江第1雨水排水ポンプ場、北条第1雨水排水ポンプ場、北条第2雨水排水ポンプ場 事業内容:雨水を速やかに排水するために必要な雨水排水ポンプ場等の施設機能を健全な状態に保つため、施設の修繕や、保守点検・運転監視業務の委託などを実施している。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	令和 3	~	令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業	款	公共下水道事業費用・公共下水道資本的支出	項	営業費用・下水道建設改良費	目	ポンプ場費・ポンプ場整備費	R3予算措置時期	当初
現計予算額(A)(単位:千円)								146,478		201,223
決算額(B)(単位:千円)								133,424		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金							0		1,925
	県支出金							0		0
	市債							0		0
	その他							133,424		199,298
	一般財源							0		0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						施設修繕...53,706 点検委託費...33,114 電力使用料...24,352		施設修繕...109,147 点検委託費...36,727 電力使用料...23,342		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						組織統合に伴い、R3年度から下水浄化センターで新たに所管流用による増あり				
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			0		13,054		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	雨水排水ポンプ場等の施設機能を健全な状態に保ち、速やかに雨水を排水するため、施設の修繕や、保守点検・運転監視業務の委託などを実施する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適正な維持管理が行われた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	雨水排水ポンプ場等の維持管理を適正に行うことで、大雨による浸水被害を防ぎ、快適な生活環境を確保することができた。			
事業の公共性	必要性	1 2:日常生活に不可欠(必需) 3:どちらにも該当しない	公益性	1 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特になし		
R4年度の目標	雨水排水ポンプ場等の維持管理を適正に行い、大雨による浸水被害を防ぎ、快適な生活環境を確保する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	雨水排水ポンプ場等の施設機能を健全な状態に保ち、速やかに雨水を排水するため、施設の修繕や、保守点検・運転監視業務の委託などを実施する。		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	機械・電気担当	連絡先	922-3162				
	部等長名	花山 康司	課等長名	宮内 忠明	リーダー名	主幹	門田 泰典	担当者名	副主幹	三木 徹也	副主幹	鴻上 大樹
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	機械・電気担当	連絡先	922-3162				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	宮内 忠明	リーダー名	主幹	門田 泰典	担当者名	主査	横山 耕一郎	主査	宇高 純一

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	中央浄化センター建設事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム
政策	快適な生活基盤をつくる				重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト
施策	下水道等の整備				主な取り組み	耐震化対策の推進
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約			
取り組みの柱	計画的な点検調査により、適切に維持管理するとともに、長寿命化計画の策定による効率的な修繕・改築を実施し、下水道施設の延命化と不明水の抑制を図ります。					
総合戦略	4311	基本目標 ④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり) 政策 ③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化 施策 ①官と民の既存ストックのマネジメント強化	取組み	① 公共施設等総合管理計画等に基づき、道路施設や市営住宅、漁港・港湾施設、上下水道、学校施設等の施設類型ごとに財源の見直しを踏まえた改修・更新等の具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定し、マネジメントの強化に努めます。また、策定した個別施設計画を踏まえて総合管理計画を改訂し、内容を充実させます。		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法 松山市下水道条例 第4次松山市下水道整備基本構想					
事業の目的(どのような状態にするか)	計画的な改築や耐震化・耐水化による中央浄化センターの安全運転を目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	国の「下水道総合地震対策事業」「下水道ストックマネジメント計画」を受けて、処理場設備の長寿命化及び改築や施設(躯体)の耐震化を図る必要がある。国からの「下水道施設の浸水対策推進」の通知を受け、浸水被害を回避するため施設の耐水化を進める必要がある。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山公共下水道事業計画中央処理区の対象となっている約3,220ha(249,100人) 中央浄化センターを安全に運転するため、改築に重点を置いた工事を実施する。 1.ストックマネジメント計画に沿った工事を行う。 2.耐震診断を実施し、耐震性能が不足する処理場施設の耐震化工事を行う。 3.想定される最大規模の浸水深さに対して、電気設備の移設、防水扉の設置や防水仕様への機器の更新工事を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	昭和 34	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業	款	公共下水道資本的支出		目	処理場整備費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項	下水道建設改良費					
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				1,467,773		1,351,328		976,492		
決算額(B)(単位:千円)				674,742		764,868				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			360,891		415,876		453,291		
	県支出金			0		0		0		
	市債			275,600		289,400		485,500		
	その他			38,251		0		0		
一般財源				0		59,592		37,701		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算				工事請負費684,038千円 委託料:80,809千円 旅費:20千円		工事請負費:922,761千円 委託料:53,731千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				決算額のうち764,868千円は前年度繰越分 流用による減あり R3年度から内部留保資金は一般財源に区分		予算額のうち546,360千円は前年度繰越分				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B) 793,031		586,460				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・汚泥脱水機械・電気設備工事を完了した。 ・3系水処理設備改築詳細設計業務委託を完了した。 ・第1・2分配槽改築(耐震補強)詳細設計業務委託を完了した。 ・第2系統最終沈殿池ほか耐震診断(詳細診断)調査業務委託を完了した。 ・下水道施設耐水化計画策定業務委託を完了した。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	老朽化した汚泥脱水機の更新工事が完了し、安定した汚泥処理が行える。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、安定した市民サービスを提供できるため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染拡大により、世界的に資材調達に日数を要しているため、工事工程が遅れる可能性がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策	施設を稼働させながらの改修・更新に先立って不測の事態を想定し、早め早めの発注に心がけ余裕のある工期設定に取組む。		
R4年度の目標	計画的な事業実施により、安定した市民サービスの提供に努める。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	第2系統最初沈殿池耐震補強工事を実施する。 3系水処理機械・電気設備改築工事を実施する。 耐水化詳細設計業務委託を実施する。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標			
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値			
			実績値						達成年度			
			達成度									
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
	本指標の設定理由											
		%	目標値							目標値		
			実績値							達成年度		
			達成度									
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
	本指標の設定理由											
	成果指標 (3つまで設定可)	施設更新数 (ストックマネジメント計画(R1~R5))	施設	目標値			1	12	12	12	目標値	12
				実績値			0	0	0	0	達成年度	R5年度
達成度						0	0	0	0			
指標の種類		3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		ストックマネジメント計画(R1~R5年)で改築を計画している施設数					
本指標の設定理由		計画的に機器更新を行うことにより施設の安定稼働を図る										
設備更新数 (第3期長寿命化計画)		台	目標値		42	113	113			目標値	113	
			実績値		49	49	113			達成年度	R3年度	
			達成度		117	43	100					
指標の種類		3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		長寿命化計画による設備更新機器数					
本指標の設定理由		計画的に機器更新を行うことにより施設の安定稼働を図る										
耐震化済みの消毒施設数		施設	目標値		4					目標値	4	
			実績値		4					達成年度	R元年度	
	達成度			100								
指標の種類	3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		第4次松山市下水道整備基本構想での目標値						
本指標の設定理由	地震発生時においても最低限の下水処理機能を確保するため											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標											
	成果指標	第3期長寿命化計画は脱水機設備の改築工事が完了したことにより目標を達成した。 ストックマネジメント計画は、工事発注を1施設行った。また、委託設計は順調に完了し4年度に工事発注を行う。 下水道総合地震対策計画に基づき、計画的に実施できている。										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容												

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	建築・土木担当	連絡先	922-3161			
	部等長名	花山 康司	課等長名	宮内 忠明	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	高山 善法	技師	山路 隆成
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	機械・電気担当	連絡先	922-3162			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	宮内 忠明	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	三木 徹也	副主幹	鴻上 大樹

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	西部浄化センター建設事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム
政策	快適な生活基盤をつくる				重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト
施策	下水道等の整備				主な取り組み	耐震化対策の推進
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約			
取り組みの柱	計画的な点検調査により、適切に維持管理するとともに、長寿命化計画の策定による効率的な修繕・改築を実施し、下水道施設の延命化と不明水の抑制を図ります。					
総合戦略	4311	基本目標 ④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)	取組み	① 公共施設等総合管理計画等に基づき、道路施設や市営住宅、漁港・港湾施設、上下水道、学校施設等の施設類型ごとに財源の見通しを踏まえた改修・更新等の具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定し、マネジメントの強化に努めます。また、策定した個別施設計画を踏まえて総合管理計画を改訂し、内容を充実させます。		
		政策 ③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化				
		施策 ①官と民の既存ストックのマネジメント強化				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法 松山市下水道条例 第4次松山市下水道整備基本構想				
事業の目的(どのような状態にするか)	計画的な改築や耐震化による西部浄化センターの安全運転を目的とする。				
背景(どのような経緯で開始したか)	国の「下水道総合地震対策事業」「下水道ストックマネジメント計画」を受けて、処理場設備の長寿命化及び改築や施設(躯体)の耐震化を図る必要がある。				
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山公共下水道事業計画西部処理区の対象となっている約2,134ha(124,720人) 西部浄化センターを安全に運転するため、改築に重点を置いた工事を実施する。 1.ストックマネジメント計画に沿った工事を行う。 2.耐震診断を実施し、耐震性能が不足する処理場施設の耐震化工事を行う。				
受益者負担の状況	負担の有無 <table border="1"> <tr> <td>「有り」の場合,基準や金額等</td> <td>「無し」の場合,その理由</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	「有り」の場合,基準や金額等	「無し」の場合,その理由		
「有り」の場合,基準や金額等	「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成 元 ~ 令和 4 終期の種別 2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業	款	公共下水道資本的支出		目	処理場整備費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項	費					
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				543,391		468,236		390,018		
決算額(B)(単位:千円)				270,737		298,935				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			140,388		147,694		149,342		
	県支出金			0		0		0		
	市債			117,200		120,400		157,100		
	その他			13,149		0		0		
一般財源				0		30,841		83,576		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費:225,049千円 委託料:73,786千円 報償費:100千円		工事請負費:354,360千円 委託料:35,658千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						決算額のうち270,118千円は前年度繰越分 流用による増あり R3年度から内部留保資金は一般財源に区分		予算額のうち135,817千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		272,654		169,301		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	沈砂池ポンプ棟耐震補強工事を完了した。 高圧受変電設備ほか改築詳細設計業務委託を完了し、工事発注を行った。 1-1最初沈殿池ほか改築(耐震補強)詳細設計業務委託を完了した。 1系最終沈殿池改築(耐震補強)詳細設計業務委託を完了した。 固形燃料化アドバイザリー業務委託を完了した。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	沈砂池水路の耐震補強が完成し、地震時でも安定した水処理が行えるようになった。また、詳細設計委託が完了したことにより、工事発注が予定通り行える。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、安定した市民サービスを提供できているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染拡大により、世界的に資材調達に日数を要しているため、工事工程が遅れる可能性がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	施設を稼働させながらの改修・更新に先立って不測の事態を想定し、早め早めの発注に心がけ、余裕のある工期設定に取り組む。		
R4年度の目標	計画的な事業実施により、安定した市民サービスの提供に努める。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	固形燃料化事業の詳細設計業務委託を実施する。 1-1最初沈殿池ほか耐震補強工事を実施する。 1-1最終沈殿池ほか耐震補強工事を実施する。 耐水化詳細設計業務委託を実施する(エココア垂注入施設)。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標			
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値			
			実績値						達成年度			
			達成度									
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
	本指標の設定理由											
		%	目標値							目標値		
			実績値							達成年度		
			達成度									
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
	本指標の設定理由											
	成果指標 (3つまで設定可)	設備更新数 (ストックマネジメント計画(R1~R5))	施設	目標値				6	6	6	目標値	6
				実績値				0			達成年度	R5年度
達成度							0					
指標の種類		3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		ストックマネジメント計画(R1~R5)で改築を計画している施設数					
本指標の設定理由		計画的に機器更新を行うことにより施設の安定稼働を図る										
耐震化済みの消毒施設数		施設	目標値		2	2				目標値	2	
			実績値		1	2				達成年度	R2年度	
			達成度		50	100						
指標の種類		3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		第4次松山市下水道整備基本構想での目標値					
本指標の設定理由		地震発生時においても最低限の下水処理機能を確保するため										
		%	目標値							目標値		
			実績値							達成年度		
	達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方								
本指標の設定理由												
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標											
	成果指標	ストックマネジメント計画は、詳細設計委託が計画通り完了し、R5年度に工事発注を行う。下水道総合地震対策計画に基づき、計画的に実施できている。										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容												

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	機械・電気担当	連絡先	922-3162				
	部等長名	花山 康司	課等長名	宮内 忠明	リーダー名	主幹	門田 泰典	担当者名	副主幹	鴻上 大樹	副主幹	三木 徹也
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	機械・電気担当	連絡先	922-3162				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	宮内 忠明	リーダー名	主幹	門田 泰典	担当者名	副主幹	三木 徹也	副主幹	鴻上 大樹

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	北部浄化センター建設事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム	
政策	快適な生活基盤をつくる						重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト	
施策	下水道等の整備						主な取り組み	耐震化対策の推進	
主な取り組み	下水道の管理・更新				市長公約				
取り組みの柱	計画的な点検調査により、適切に維持管理するとともに、長寿命化計画の策定による効率的な修繕・改築を実施し、下水道施設の延命化と不明水の抑制を図ります。								
総合戦略	4311	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)		取組み	① 公共施設等総合管理計画等に基づき、道路施設や市営住宅、漁港・港湾施設、上下水道、学校施設等の施設類型ごとに財源の見直しを踏まえた改修・更新等の具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定し、マネジメントの強化に努めます。また、策定した個別施設計画を踏まえて総合管理計画を改訂し、内容を充実させます。			
		政策	③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化						
		施策	①官と民の既存ストックのマネジメント強化						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法 松山市下水道条例 第4次松山市下水道整備基本構想				
事業の目的(どのような状態にするか)	計画的な改築や耐震化による北部浄化センターの安全運転を目的とする。				
背景(どのような経緯で開始したか)	国の「下水道ストックマネジメント計画」を受けて、処理場設備の長寿命化及び改築を図る必要がある。				
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山公共下水道事業計画北部処理区の対象となっている約399ha(16,480人) 1. ストックマネジメント計画に沿った工事を行う。				
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 8	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業	款	公共下水道資本的支出		目	処理場整備費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項	費					
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				0		7,680		151,401		
決算額(B)(単位:千円)				0		3,465				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		1,732		79,998		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		1,600		63,200		
	その他			0		0		0		
一般財源				0		133		8,203		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料:3,465千円		工事請負費:136,400千円 委託料:15,001千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						決算額のうち3,465千円は前年度繰越分 R3年度から内部留保資金は一般財源に区分				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		0		4,215		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	監視制御設備の詳細設計委託が完了した。			
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	詳細設計業務委託を予定通り完了ができ、R4年度の工事発注が予定通り行える。
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、安定した市民サービスを提供できているため	
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性 1
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染拡大により、世界的に資材調達に日数を要しているため、工事工程が遅れる可能性がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	施設を稼働させながらの改修・更新に先立って不測の事態を想定し、早め早めの発注に心がけ、余裕のある工期設定に取り組む。
R4年度の目標	計画的な事業実施により、安定した市民サービスの提供に努める。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	監視制御設備更新工事を実施する。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標			
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値			
			実績値						達成年度			
			達成度									
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
	本指標の設定理由											
		%	目標値							目標値		
			実績値						達成年度			
			達成度									
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
	本指標の設定理由											
	成果指標 (3つまで設定可)	設備更新数 (ストックマネジメント計画(R1~R5))	施設	目標値				1	1	1	目標値	1
				実績値				0			達成年度	R5年度
達成度							0					
指標の種類		3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		ストックマネジメント計画(R1~R5年)で改築を計画している施設数					
本指標の設定理由		計画的に機器更新を行うことにより施設の安定稼働を図る										
		%	目標値							目標値		
			実績値						達成年度			
			達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由												
		%	目標値							目標値		
			実績値						達成年度			
	達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方								
本指標の設定理由												
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標											
	成果指標	ストックマネジメント計画は、詳細設計委託が計画通り完了した。R4年度に工事発注を行う。										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容												

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	建築・土木担当	連絡先	922-3161			
	部等長名	花山 康司	課等長名	宮内 忠明	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	高山 善法	技師	山路 隆成
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	機械・電気担当	連絡先	922-3162			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	宮内 忠明	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	三木 徹也	副主幹	鴻上 大樹

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	51311	北条浄化センター建設事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム
政策	快適な生活基盤をつくる				重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト
施策	下水道等の整備				主な取り組み	耐震化対策の推進
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約			
取り組みの柱	計画的な点検調査により、適切に維持管理するとともに、長寿命化計画の策定による効率的な修繕・改築を実施し、下水道施設の延命化と不明水の抑制を図ります。					
総合戦略	4311	基本目標 ④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり) 政策 ③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化 施策 ①官と民の既存ストックのマネジメント強化	取組み	① 公共施設等総合管理計画等に基づき、道路施設や市営住宅、漁港・港湾施設、上下水道、学校施設等の施設類型ごとに財源の見直しを踏まえた改修・更新等の具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定し、マネジメントの強化に努めます。また、策定した個別施設計画を踏まえて総合管理計画を改訂し、内容を充実させます。		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法 松山市下水道条例 第4次松山市下水道整備基本構想					
事業の目的(どのような状態にするか)	計画的な改築や耐震化による北条浄化センターの安全運転を目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	国の「下水道総合地震対策事業」「下水道ストックマネジメント計画」を受けて、処理場設備の長寿命化及び改築や施設(躯体)の耐震化を図る必要がある。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山公共下水道事業計画北条処理区の対象となっている約588ha(18,640人) 1.ストックマネジメント計画に沿った工事を行う。 2.耐震診断を実施し、耐震性能が不足する処理場施設の耐震化工事を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成 17	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業	款	公共下水道資本的支出		目	処理場整備費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項	費					
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				39,870		164,800		289,606		
決算額(B)(単位:千円)				21,430		23,797				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			10,715		11,897		144,065		
	県支出金			0		0		0		
	市債			9,600		7,200		124,800		
	その他			1,115		0		0		
一般財源			0		4,700		20,741			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料:23,797千円		工事請負費:265,300千円 委託料:24,306千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						決算額のうち23,797千円は前年度繰越分 流用による増あり R3年度から内部留保資金は一般財源に区分		予算額のうち51,305千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		18,440		141,003		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	高圧受変電設備改築詳細設計業務委託が完了した。 導水渠ほか耐震診断(詳細診断)調査業務委託が完了した。 最初沈殿池設備ほか改築詳細設計業務委託が完了した。 高圧受変電設備更新工事を着工した。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	2本の詳細設計委託が予定通り完了した。そのうち、1本は当年度に発注が完了し、残りの工事についてもR4年度に予定通り発注を行う。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、安定した市民サービスを提供できているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染拡大により、世界的に資材調達に日数を要しているため、工事工程が遅れる可能性がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	施設を稼働させながらの改修・更新に先立って不測の事態を想定し、早め早めの発注に心がけ余裕のある工期設定に取組む。		
R4年度の目標	計画的な事業実施により、安定した市民サービスの提供に努める。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	高圧受変電設備更新工事を行う。 最初沈殿池設備ほか機械・電気設備更新工事を行う。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
	成果指標 (3つまで設定可)	設備更新数 (ストックマネジメント計画(R1~R5))	施設	目標値		0	10	10	10	目標値	10
				実績値		0	0			達成年度	R5年度
達成度					0	0					
指標の種類		3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		ストックマネジメント計画(R1~R5年)で改築を計画している施設数				
本指標の設定理由		計画的に機器更新を行うことにより施設の安定稼働を図る									
耐震化済みの消毒施設数		施設	目標値	1	1				目標値	1	
			実績値	0	1				達成年度	R2年度	
			達成度	0	100						
指標の種類		3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		第4次松山市下水道整備基本構想での目標値				
本指標の設定理由		地震発生時においても最低限の下水処理機能を確保するため									
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
	達成度										
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	ストックマネジメント計画は、詳細設計委託が計画通り完了した。1本は工事発注を行い、残りはR4年度に工事発注を行う。下水道総合地震対策計画に基づき、計画的に実施できている。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	機械・電気担当	連絡先	922-3162				
	部等長名	花山 康司	課等長名	宮内 忠明	リーダー名	主幹	門田 泰典	担当者名	副主幹	鴻上 大樹	副主幹	三木 徹也
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	機械・電気担当	連絡先	922-3162				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	宮内 忠明	リーダー名	主幹	門田 泰典	担当者名	副主幹	三木 徹也	副主幹	鴻上 大樹

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	汚水中継ポンプ場建設事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム
政策	快適な生活基盤をつくる				重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト
施策	下水道等の整備				主な取り組み	耐震化対策の推進
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約			
取り組みの柱	計画的な点検調査により、適切に維持管理するとともに、長寿命化計画の策定による効率的な修繕・改築を実施し、下水道施設の延命化と不明水の抑制を図ります。					
総合戦略	4311	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)	取組み	①公共施設等総合管理計画等に基づき、道路施設や市営住宅、漁港・港湾施設、上下水道、学校施設等の施設類型ごとに財源の見通しを踏まえた改修・更新等の具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定し、マネジメントの強化に努めます。また、策定した個別施設計画を踏まえて総合管理計画を改訂し、内容を充実させます。	
	政策	③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化				
	施策	①官と民の既存ストックのマネジメント強化				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法 松山市下水道条例 第4次松山市下水道整備基本構想					
事業の目的(どのような状態にするか)	計画的な改築や耐震化による汚水中継ポンプ場の安全運転を目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	国の「下水道総合地震対策事業」「下水道ストックマネジメント計画」を受けて、汚水中継ポンプ場の長寿命化及び改築や施設(躯体)の耐震化を図る必要がある。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	汚水中継ポンプ場等(10箇所)を安全に運転するため、改築や耐震化を図る。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等		「無し」の場合、その理由		
始期・終期(年度)	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道会計	款	公共下水道資本的支出		目	ポンプ場整備費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項	下水道建設改良費					
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				516,865		982,441		526,399		
決算額(B)(単位:千円)				9,452		496,724		240,675		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			4,726		248,145		240,675		
	県支出金			0		0		0		
	市債			4,200		223,300		255,600		
	その他			526		0		0		
一般財源			0		25,279		30,124			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費:463,600千円 委託料:32,725千円 補償費:399千円		工事請負費:511,900千円 委託料:14,499千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						決算額のうち496,325千円は前年度繰越分		予算額のうち386,299千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		507,413		485,717		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	垣生汚水中継ポンプ場改築詳細設計業務委託を完了した。 浅海汚水中継ポンプ場改築詳細設計業務委託を完了した。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り、2本の詳細設計業務委託を完了し、R4年度に工事の発注を行う。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、安定した市民サービスを提供できているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染拡大により、世界的に資材調達に日数を要しているため、工事工程が遅れる可能性がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	施設を稼働させながらの改修・更新に先立って不測の事態を想定し、早め早めの発注に心がけ、余裕のある工期設定に取り組む。		
R4年度の目標	計画的な事業実施により、安定した市民サービスの提供に努める。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	保免第1中継ポンプ場外壁更新工事を実施する。 垣生汚水中継ポンプ場流入ゲート更新工事を実施する。 浅海汚水中継ポンプ場機械・電気設備更新工事を実施する。 耐水化詳細設計業務委託を実施する。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標				
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値				
			実績値						達成年度				
			達成度										
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方								
	本指標の設定理由												
		%	目標値							目標値			
			実績値						達成年度				
			達成度										
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方								
	本指標の設定理由												
	成果指標 (3つまで設定可)	設備更新数 (ストックマネジメント計画(R1~R5))	施設	目標値			1	4	4	4	4	目標値	4
				実績値			0	0	0	0	0	達成年度	R5年度
達成度						0	0	0	0	0			
指標の種類		3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		ストックマネジメント計画(R1~R5年)で改築を計画している施設数						
本指標の設定理由		計画的に機器更新を行うことにより施設の安定稼働を図る											
耐震化済みの施設数		施設	目標値		6	6	6	6	6	6	目標値	6	
			実績値		1	2	3	3	3	3	達成年度	R4年度	
			達成度		17	33	50	50	50	50			
指標の種類		3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		松山市下水道総合地震対策計画で耐震化を予定している施設数を目標としている。						
本指標の設定理由		地震発生時においても施設の安定稼働を図るため。											
		%	目標値								目標値		
			実績値								達成年度		
	達成度												
指標の種類				最終目標値の設定の考え方									
本指標の設定理由													
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標												
	成果指標	ストックマネジメント計画は、詳細設計委託が計画通り完了し、R4年度に工事発注を行う。下水道総合地震対策計画に基づき、計画的に実施できている。											
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容													

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	建築・土木担当	連絡先	922-3161			
	部等長名	花山 康司	課等長名	宮内 忠明	リダー名	副主幹	担当者名	主任	高山 善法	技師	山路 隆成
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	機械・電気担当	連絡先	922-3162			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	宮内 忠明	リダー名	主幹	担当者名	副主幹	三木 徹也	副主幹	鴻上 大樹

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	51311	雨水排水ポンプ場建設改良事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム
政策	快適な生活基盤をつくる							重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト
施策	下水道等の整備							主な取り組み	耐震化対策の推進
主な取り組み	下水道の管理・更新					市長公約			
取り組みの柱	計画的な点検調査により、適切に維持管理するとともに、長寿命化計画の策定による効率的な修繕・改築を実施し、下水道施設の延命化と不明水の抑制を図ります。								
総合戦略	4311	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)			取組み	① 公共施設等総合管理計画等に基づき、道路施設や市営住宅、漁港・港湾施設、上下水道、学校施設等の施設類型ごとに財源の見直しを踏まえた改修・更新等の具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定し、マネジメントの強化に努めます。また、策定した個別施設計画を踏まえて総合管理計画を改訂し、内容を充実させます。		
	政策	③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化							
	施策	①官と民の既存ストックのマネジメント強化							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法 松山市下水道条例 第4次松山市下水道整備基本構想								
事業の目的(どのような状態にするか)	計画的な改築や耐震化による雨水排水ポンプ場の安全運転を目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	国の「下水道総合地震対策事業」「下水道ストックマネジメント計画」を受けて、雨水排水ポンプ場の長寿命化及び改築や施設(躯体)の耐震化を図る必要がある。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	雨水排水ポンプ場(14箇所)を安全に運転するため、改築や耐震化を図る。								
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等			「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	～ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業	款	公共下水道資本的支出		目	ポンプ場整備費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項	下水道建設改良費					
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						567,233	438,611	510,590		
決算額(B)(単位:千円)						267,959	273,079	510,590		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					125,229	126,722	202,697		
	県支出金					0	0	0		
	市債					128,900	109,800	275,600		
	その他					13,830	36,557	32,293		
一般財源					0	0	0			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費:252,945千円 委託料:20,134千円		工事請負費:465,589千円 委託料:45,001千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						決算額のうち268,020千円は前年度繰越分		予算額のうち122,059千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		299,274	165,532			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	中須賀第1雨水排水ポンプ場設備改築詳細設計業務委託が完了した。 中須賀第1雨水排水ポンプ場機械設備更新工事を着工した。 北条第1雨水排水ポンプ場機械・電気設備更新工事が完了した。 勝岡雨水排水ポンプ場耐震補強工事が完了した。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定通り中須賀第1雨水排水ポンプ場詳細設計業務委託が完了し、機械工事を発注した。残りの電気工事もR4年度に発注を行う。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			本事業の実施により、安定した市民サービスを提供できているため				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染拡大により、世界的に資材調達に日数を要しているため、工事工程が遅れる可能性がある。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		施設を稼働させながらの改修・更新に先立って不測の事態を想定し、早め早めの発注に心がけ、余裕のある工期設定に取り組む。		
R4年度の目標	計画的な事業実施により、安定した市民サービスの提供に努める。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		中須賀第1雨水排水ポンプ場機械・電気設備更新工事を実施する。 中須賀第1雨水排水ポンプ場改築(建築)詳細設計業務委託を実施する。 北条第1雨水排水ポンプ場改築(建築)詳細設計業務委託を実施する。 耐水化詳細設計業務委託を実施する。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標			
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値			
			実績値						達成年度			
			達成度									
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
	本指標の設定理由											
		%	目標値							目標値		
			実績値							達成年度		
			達成度									
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
	本指標の設定理由											
	成果指標 (3つまで設定可)	設備更新数 (ストックマネジメント計画(R1~R5))	施設	目標値				2	2	2	目標値	2
				実績値				0			達成年度	R5年度
達成度							0					
指標の種類		3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		ストックマネジメント計画(R1~R5年)で改築を計画している施設数					
本指標の設定理由		計画的に機器更新を行うことにより施設の安定稼働を図る										
設備更新数 (長寿命化計画)		台	目標値		48	72	72			目標値	72	
			実績値		38	51	72			達成年度	R3年度	
			達成度		79	71	100					
指標の種類		3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		長寿命化計画による設備更新機器数					
本指標の設定理由		計画的に機器更新を行うことにより施設の安定稼働を図る										
耐震化済施設数		施設	目標値		3	3	3	3		目標値	3	
			実績値		0	1	2			達成年度	R4年度	
	達成度			0	33	66						
指標の種類	3.累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		松山市下水道総合地震対策計画で耐震化を予定している施設数						
本指標の設定理由	地震発生時においても施設の安定稼働を図るため。											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標											
	成果指標	長寿命化計画は、北条第1雨水沈砂池設備の更新工事が完了したことで目標値を達成した。 スtockマネジメント計画は、詳細設計委託が計画通り完了した。1本は工事発注を行い、残りはR4年度に工事発注を行う。 下水道総合地震対策計画に基づき、計画的に実施できている。										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容												

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	性能管理担当	連絡先	922-2855		
	部等長名	花山 康司	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	横田 圭祐	担当者名	主任	小林 正輝
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	性能管理担当	連絡先	922-2855		
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	横田 圭祐	担当者名	主任	小林 正輝

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51312	農業集落排水処理施設運転管理事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	7:その他	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	下水道等の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	下水道の管理・更新				市長公約					
取り組みの柱	下水浄化センターの適正な運転管理を行い、維持管理コストの削減を図ります。									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第3条第1項									
事業の目的(どのような状態にするか)	大浦地区の農業集落排水処理施設の維持管理を適正に行い、放流水質基準を順守することにより、住民の生活環境向上と公共用水域の水質の保全を図ることを目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	大浦地区の生活環境改善のために、昭和60年に供用開始し、この事業を実施している。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象施設:大浦農業集落排水処理施設【大浦地区の家庭から排出される下水を対象としている(処理人口約200人)】 適正な維持管理を実施して放流水質の基準を遵守することを重点に置いた取り組みを実施している。 1. 浄化槽管理者において浄化槽法に適した保守点検、汚泥の引抜を行う。									
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	昭和 60	～	令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業	款	農業集落排水事業費用	項	営業費用	目	処理場費	R3予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				5,102			5,003			5,050
決算額(B)(単位:千円)				3,753			3,217			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金		0		0		0		0	
	県支出金		0		0		0		0	
	市債		0		0		0		0	
	その他		3,753		0		0		0	
	一般財源		0		3,217		5,050			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				点検委託費...935 汚泥引抜き手数料...920 電力使用料...828		点検委託費...1,111 汚泥引抜き手数料...1,115 修繕工事費...1,300				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				農業集落排水処理施設運転管理事業へ名称変更 R3年度から下水道使用料等は一般財源に区分						
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,349		1,786		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	効率的で適正な維持管理を行う為、保守点検業務等を民間業者へ委託して実施する。 定期的に修繕等を行い、施設の運転に支障が起きないようにする。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			適正な維持管理が行われた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		適正な維持管理を行うことで、住環境の安定が保たれ、放流水質基準が遵守されたことで、公共用水域の水質保全が図られた。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	施設の老朽化に伴う施設更新・改修計画の策定を検討している。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		機能診断調査を行った上で、施設の老朽化に伴う施設の更新・改修について検討を行う。			
R4年度の目標	継続して効率的で適正な維持管理を行い、放流水質の基準を遵守する。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		放流水質の監視を継続して実施する。 老朽設備の改修を継続して実施する。			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	性能管理担当	連絡先	922-2855		
	部等長名	花山 康司	課等長名	森賀 友博	リダー名	副主幹	横田 圭祐	担当者名	主任	木網 崇之
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	性能管理担当	連絡先	922-2855		
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	森賀 友博	リダー名	副主幹	横田 圭祐	担当者名	主任	木網 崇之

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51312	中央浄化センター運転管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約	542	愛着・誇り542	
取り組みの柱	下水浄化センターの適正な運転管理を行い、維持管理コストの削減を図ります。				自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります	
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第3条第1項					
事業の目的(どのような状態にするか)	中央浄化センター等の維持管理を適正に行い、放流水質基準を遵守することにより、公共用水域の水質の保全を図ることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	中央浄化センターが昭和37年に供用開始になり、この事業を実施している。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象施設:中央浄化センター【市内の中央処理区の家業や事業所から出る下水を対象としている。(処理人口約249,000人)】 ・適正な維持管理を実施して放流水質の基準を遵守することや下水道資源の有効利用を図ることに重点を置いた取組みを実施している。 1.運転管理業務を包括的民間委託で実施することにより、民間の技術力を活用し、効率的で適正な運転管理の実施。 2.下水汚泥を適正に処理するため、市内許可業者に委託して実施。 3.汚泥の有効利用を図るため、実績のある許可業者に委託して、セメント化や堆肥化を実施。 4.一部合流式下水道を採用しているため、雨天時に河川等に汚濁物が流出する改善策として、スワール分水槽や雨水滞水池を設置し対応。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	昭和 37	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業	款	公共下水道事業費用・公共下水道資本的支出	項	営業費用・下水道建設改良費	目	ポンプ場費・処理場費・ポンプ場整備費・処理場整備費・営業設備費	R3 予算措置時期	当初	繰越	
				R2年度			R3年度			R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				865,526			848,415			925,578		
決算額(B)(単位:千円)				753,038			754,977			2,639		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0			2,200		
	県支出金			0			0			0		
	市債			0			0			0		
	その他			753,038			0			0		
一般財源			0			752,338			923,378			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				運転管理業務委託料...329,480 電力使用料(処理場・ポンプ場)...154,388 施設の修繕費...118,693			運転管理業務委託料...331,237 電力使用料(処理場・ポンプ場)...236,725 施設の修繕費...153,479					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				予算額のうち5,278千円は前年度繰越分 流用による減あり R3年度から下水道使用料等は一般財源に区分			予算額のうち10,524千円は前年度繰越分					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			112,488			93,438		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	運転管理業務委託の監視・評価を行う。 下水汚泥の適正な処理を行う。 下水道資源の有効活用を図る。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適正な維持管理などが行われた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	適正な維持管理を行うことで、放流水質基準が遵守され、公共用水域の水質保全が図れた。			
事業の公共性	必要性	1	1.日常生活に不可欠(必需) 2.日常生活に不可欠ではない(選択) 3.どちらにも該当しない	公益性	1	1.より多くの市民に提供(共同型) 2.特定の個人・団体等に提供(個人型) 3.どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	費用対効果を考慮した下水道資源の有効利用の向上が課題である。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		下水道資源の有効利用率を向上させるため、新たな有効利用方法の検討を行う。
R4年度の目標	継続して効率的で適正な維持管理を行い、放流水質の基準を遵守するとともに、下水道資源の有効利用率の向上を図る。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		運転管理業務委託の監視・評価を継続して実施する。 下水汚泥の適正な処理を継続して実施する。 下水道資源の有効活用を検討する。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	下水汚泥の有効利用率	%	目標値	27.7	27.8	27.9	24.3	24.3	目標値		
			実績値	26.6	29.3	25.0			達成年度		
			達成度	96.0	105.4	89.6					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	有効利用率は有効利用先の業者の引き受け可能量により数値が変動することから、最終目標値は設定しない。			
	本指標の設定理由	有効利用率が上昇することにより、資源循環を促進させる。									
	活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	成果指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	処理場から発生する汚泥を有効利用先の業者の協力を得て再利用しているが、業者の引き受け量が昨年度と比較して減少したため、目標値を下回った。									
	成果指標										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	性能管理担当	連絡先	922-2855		
	部等長名	花山 康司	課等長名	森賀 友博	リダー名	副主幹	横田 圭祐	担当者名	主任	小林 正輝
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	性能管理担当	連絡先	922-2855		
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	森賀 友博	リダー名	副主幹	横田 圭祐	担当者名	主任	小林 正輝

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51312	西部浄化センター運転管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約	542	愛着・誇り542	
取り組みの柱	下水浄化センターの適正な運転管理を行い、維持管理コストの削減を図ります。				自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります	
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
取組	-		取組み	-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第3条第1項					
事業の目的(どのような状態にするか)	西部浄化センター等の維持管理を適正に行い、放流水質基準を遵守することにより、公共用水域の水質の保全を図ることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	西部浄化センターが平成4年に供用開始になり、この事業を実施している。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象施設:西部浄化センター【市内の西部処理区の家業や事業所から出る下水を対象としている。(処理人口約125,000人)】 ・適正な維持管理を実施して放流水質の基準を遵守すること や下水道資源の有効利用の向上に重点を置いた取組みを実施している。 1.運転管理業務を包括的民間委託で実施することにより、民間の技術力を活用し、効率的で適正な運転管理の実施。 2.下水汚泥を適正に処理するため、市内許可業者に委託して実施。 3.下水汚泥を焼却し、産業廃棄物の減量化を図るとともに、焼却炉の年次点検時には汚泥の有効利用を図るため、実績のある許可業者に委託して堆肥化を実施。 4.処理施設の一部に高度処理施設(ステップ流入式3段階硝化脱窒法)が導入されており、放流水質の向上を図っている。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成 4	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業	款	公共下水道事業費用・公共下水道資本的支出	項	営業費用・下水道建設改良費	目	ポンプ場費・処理場費・ポンプ場整備費・処理場整備費・営業設備費	R3 予算措置時期	当初	繰越
現計予算額(A)(単位:千円)						719,861		678,030			712,858
決算額(B)(単位:千円)						574,003		624,934			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、R4→予算内訳			国支出金			0		2,502			550
			県支出金			0		0			0
			市債			0		0			0
			その他			574,003		0			0
			一般財源			0		622,432			712,308
主な経費(単位:千円) ※R3→決算、R4→予算							運転管理業務委託料...284,846 電力使用料(処理場・ポンプ場)...123,416 修繕工事費...68,172				運転管理業務委託料...286,028 電力使用料(処理場・ポンプ場)...163,294 修繕工事費...65,837
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							予算額のうち5,004千円は前年度繰越分 流用による減あり R3年度から下水道使用料等は一般財源に区分				予算額のうち1,542千円は前年度繰越分
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			145,858		53,096			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	運転管理業務委託の監視・評価を行う。 下水汚泥の適正な処理を行う。 下水道資源の有効活用を図る。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適正な維持管理などが行われた。							
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	適正な維持管理を行うことで、放流水質基準が遵守され、公共用水域の水質保全が図れた。								
事業の公共性	必要性	1	1.日常生活に不可欠(必需) 2.日常生活に不可欠ではない(選択) 3.どちらにも該当しない	公益性	1	1.より多くの市民に提供(共同型) 2.特定の個人・団体等に提供(個人型) 3.どちらにも該当しない					
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	費用対効果を考慮した下水道資源の有効利用の向上が課題である。			環境変化,障害,課題等解決のためR4年度で取り組む改善策			下水道資源の有効利用率を向上させるため、新たな有効利用方法の検討を行う。				
R4年度の目標	継続して効率的で適正な維持管理を行い、放流水質の基準を遵守するとともに、下水道資源の有効利用率の向上を図る。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			運転管理業務委託の監視・評価を継続して実施する。 下水汚泥の適正な処理を継続して実施する。 下水道資源の有効活用を検討する。				

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	下水汚泥の有効利用率	%	目標値	27.7	27.8	27.9	24.3	24.3	目標値		
			実績値	26.6	29.3	25.0			達成年度		
			達成度	96.0	105.4	89.6					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		有効利用率は有効利用先の業者の引き受け可能量により数値が変動することから、最終目標値は設定しない。			
	本指標の設定理由	有効利用率が上昇することにより、資源循環を促進させる。									
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	処理場から発生する汚泥を有効利用先の業者の協力を得て再利用しているが、業者の引き受け量が昨年度と比較して減少したため、目標値を下回った。									
	成果指標										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	性能管理担当	連絡先	922-2855			
	部等長名	花山 康司	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	横田 圭祐	担当者名	主査	中村 直之	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	性能管理担当	連絡先	922-2855			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	横田 圭祐	担当者名	主査	檜垣 卓雄	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51312	北部浄化センター運転管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約	542	愛着・誇り542	
取り組みの柱	下水浄化センターの適正な運転管理を行い、維持管理コストの削減を図ります。				自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります	
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第3条第1項					
事業の目的(どのような状態にするか)	北部浄化センターの維持管理を適正に行い、放流水質基準を遵守することにより、公共用水域の水質の保全を図ることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	北部浄化センターは平成17年度に供用開始になり、この事業を実施している。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	・対象施設:北部浄化センター【市内の北部処理区の家庭や事業所から出る下水を対象としている。(処理人口約16,000人)】 ・適正な維持管理を実施して放流水質の基準を遵守することや、下水汚泥の適正な処理を実施している。 1.運転管理業務を包括的民間委託で実施することにより、民間の技術力を活用し、効率的で適正な運転管理の実施。 2.下水汚泥を適正に処理するため、市内許可業者に委託して実施。 3.高度処理施設(ステップ流入式3段階硝化脱窒法)により、放流水質の向上を図っている。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成 17	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業	款	公共下水道事業費用・公共下水道資本的支出	項	営業費用・下水道建設改良費	目	処理場費・処理場整備費・営業設備費	R3 予算措置時期	当初	繰越
現計予算額(A)(単位:千円)						194,246		249,434			209,131
決算額(B)(単位:千円)						171,127		239,505			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		740			550
			県支出金			0		0			0
			市債			0		0			0
			その他			171,127		0			0
			一般財源			0		238,765			208,581
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							運転管理業務委託料...169,436 電力使用料(処理場)...25,374 修繕工事費...33,099			運転管理業務委託料...133,544 電力使用料(処理場)...36,755 修繕工事費...22,177	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							予算額のうち1,481千円は前年度繰越分 流用による減あり R3年度から下水道使用料等は一般財源に区分			予算額のうち1,542千円は前年度繰越分	
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			23,119		9,929			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	運転管理業務委託の監視・評価を行う。 下水汚泥の適正な処理を行う。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適正な維持管理などが行われた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	適正な維持管理を行うことで、放流水質基準が遵守され、公共用水域の水質保全が図れた。			
事業の公共性	必要性	1 2:日常生活に不可欠(必需) 3:どちらにも該当しない	公益性	1 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特になし。		
R4年度の目標	継続して効率的で適正な維持管理を行い、放流水質の基準を遵守する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	運転管理業務委託の監視・評価を継続して実施する。 下水汚泥の適正な処理を継続して実施する。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	下水汚泥の有効利用率	%	目標値	27.7	27.8	27.9	24.3	24.3	目標値		
			実績値	26.6	29.3	25.0			達成年度		
			達成度	96.0	105.4	89.6					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		有効利用率は有効利用先の業者の引き受け可能量により数値が変動することから、最終目標値は設定しない。			
	本指標の設定理由	有効利用率が上昇することにより、資源循環を促進させる。									
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	処理場から発生する汚泥を有効利用先の業者の協力を得て再利用しているが、業者の引き受け量が昨年度と比較して減少したため、目標値を下回った。								
		成果指標									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	性能管理担当	連絡先	922-2855		
	部等長名	花山 康司	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	横田 圭祐	担当者名	主査	中村 直之
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	性能管理担当	連絡先	922-2855		
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	横田 圭祐	担当者名	主査	檜垣 卓雄

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51312	北条浄化センター運転管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約	542	愛着・誇り542	
取り組みの柱	下水浄化センターの適正な運転管理を行い、維持管理コストの削減を図ります。				自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります	
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第3条第1項					
事業の目的(どのような状態にするか)	北条浄化センターの維持管理を適正に行い、放流水質基準を遵守することにより、公共用水域の水質の保全を図ることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	北条浄化センターが昭和62年度に供用開始になり、この事業を実施している。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	・対象施設:北条浄化センター【市内の北条処理区の家業や事業所から出る下水を対象としている。(処理人口約18,000人)】 ・適正な維持管理を実施して、放流水質の基準を遵守することや下水汚泥の適正な処理を実施している。 1.運転管理業務を包括的民間委託で実施することにより、民間の技術力を活用し、効率的で適正な運転管理の実施。 2.下水汚泥を適正に処理するため、市内許可業者に委託して実施。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	昭和 62	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業	款	公共下水道事業費用・公共下水道資本的支出	項	営業費用・下水道建設改良費	目	ポンプ場費・処理場費・ポンプ場整備費・処理場整備費・営業設備費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)						217,568		236,546	257,756		
決算額(B)(単位:千円)						196,127		211,054	275		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金				0		264	0			
	県支出金				0		0	0			
	市債				0		0	0			
	その他				196,127		0	0			
一般財源				0		210,790	257,481				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算						運転管理業務委託料...137,370 電力使用料(処理場・ポンプ場)...24,687 修繕工事費...32,505	運転管理業務委託料...145,038 電力使用料(処理場・ポンプ場)...32,723 修繕工事費...56,473				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						予算額のうち528千円は前年度繰越分 流用による増あり R3年度から下水道使用料等は一般財源に区分		予算額のうち771千円は前年度繰越分			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		21,441		25,492			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	運転管理業務委託の監視・評価を行う。 下水汚泥の適正な処理を行う。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適正な維持管理などが行われた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	適正な維持管理を行うことで、放流水質基準が遵守され、公共用水域の水質保全が図れた。			
事業の公共性	必要性	1	1.日常生活に不可欠(必需) 2.日常生活に不可欠ではない(選択) 3.どちらにも該当しない	公益性	1	1.より多くの市民に提供(共同型) 2.特定の個人・団体等に提供(個人型) 3.どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。		環境変化,障害,課題等解決のためR4年度で取り組む改善策		特になし。	
R4年度の目標	継続して効率的で適正な維持管理を行い、放流水質の基準を遵守する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		運転管理業務委託の監視・評価を継続して実施する。 下水汚泥の適正な処理を継続して実施する。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	下水汚泥の有効利用率	%	目標値	27.7	27.8	27.9	24.3	24.3	目標値		
			実績値	26.6	29.3	25.0			達成年度		
		%	達成度	96.0	105.4	89.6					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		有効利用率は有効利用先の業者の引き受け可能量により数値が変動することから、最終目標値は設定しない。			
	本指標の設定理由	有効利用率が上昇することにより、資源循環を促進させる。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	処理場から発生する汚泥を有効利用先の業者の協力を得て再利用しているが、業者の引き受け量が昨年度と比較して減少したため、目標値を下回った。								
		成果指標									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	性能管理担当	連絡先	922-2855		
	部等長名	花山 康司	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	横田 圭祐	担当者名	主任	小林 正輝
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	性能管理担当	連絡先	922-2855		
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	森賀 友博	リーダー名	副主幹	横田 圭祐	担当者名	主任	木網 崇之

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51312	運転管理事務事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	7:その他
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	下水道等の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	下水道の管理・更新				市長公約				
取り組みの柱	下水浄化センターの適正な運転管理を行い、維持管理コストの削減を図ります。								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第3条第1項								
事業の目的(どのような状態にするか)	浄化センター等の維持管理を適正に行い、各施設の放流水質基準を遵守することにより、公共用水域の水質の保全を図ることを目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平成19年度から予算執行管理の簡素化・一元化を図るため浄化センターの運転管理に関する一般事務経費の集約化を行っている。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	各浄化センターの予算執行管理の簡素化・一元化を図るため浄化センターの運転管理に関する一般事務経費の集約化を行っており、適正な維持管理を実施して放流水質基準の遵守や職員のスキル向上を図っている。 1.職員人件費・職員研修旅費・一般事務経費等に係る維持管理の実施。 2.放流水質の基準を遵守するため水質等検査に係る業務の実施。								
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成	19	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業	款	公共下水道事業費用		項	営業費用	目	ポンプ場費・処理場費	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)					51,503				44,127		45,875
決算額(B)(単位:千円)					44,800				40,970		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0				0		0
			県支出金		0				0		0
			市債		0				0		0
			その他		44,800				0		0
			一般財源		0				40,970		45,875
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算								水質管理費...37,017 ストックマネジメントシステム運用経費...3,231		水質管理費...41,661 ストックマネジメントシステム運用経費...3,312	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								流用による増あり R3年度から下水道使用料等は一般財源に区分			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		6,703				3,157		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	効率的で適正な維持管理を継続して実施する。 職員のスキル向上を図るため、外部研修に派遣する。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			適正な維持管理などが行われた。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		適正な維持管理を行うことで、放流水質基準が遵守され、公共用水域の水質保全及び職員のスキルの向上が図れた。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特に無し。		
R4年度の目標	効率的で適正な維持管理を継続実施し、放流水質基準の遵守を図る。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				効率的で適正な維持管理を継続して実施する。 職員のスキル向上を図るため、外部研修に派遣する。		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	維持管理担当	連絡先	922-2855			
	部等長名	花山 康司	課等長名	森賀 友博	リーダー名	主幹	高橋 信也	担当者名	主任	山本 健太	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水浄化センター	担当グループ名	維持管理担当	連絡先	922-2855			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	森賀 友博	リーダー名	主幹	高橋 信也	担当者名	主任	山本 健太	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51312	中央浄化センター消化ガス発電事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約	542	愛着・誇り542	
取り組みの柱	下水浄化センターの適正な運転管理を行い、維持管理コストの削減を図ります。				自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります	
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	第4次松山市下水道整備基本構想					
事業の目的(どのような状態にするか)	下水汚泥処理の過程で発生する「消化ガス」を利用した発電を行うことで、資源の有効活用になり、温室効果ガス排出の削減にも貢献できる。また、得られた電力を売ることで、下水道事業経営の改善につながる。					
背景(どのような経緯で開始したか)	消化ガスの有効活用方法について検討を行う中で、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を利用した発電事業が有益であると判断し、導入した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	・対象施設:中央浄化センターの消化ガス発電設備 ・適正な維持管理を実施して、継続して発電できる環境を整備している。 1.発電状況の把握等通常監視を行い、適正な維持管理を実施している。 2.不具合がなく継続して発電できるよう定期的に機器の点検を実施している。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成 27 ~ 令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業	款	公共下水道事業費用	項	附帯事業費用	目	売電事業費用	R3 予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度			R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)								93,416	89,124	95,767
決算額(B)(単位:千円)								79,867	66,428	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金							0	0	0
	県支出金							0	0	0
	市債							0	0	0
	その他							79,867	66,428	95,767
	一般財源							0	0	0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								点検委託費...64,246 施設修繕...443 薬品費...660	点検委託費...88,000 施設修繕...3,901 薬品費...1,571	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)					13,549	22,696	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	消化ガス発電設備が安定して発電できるよう、定期的な機器点検及び適正な維持管理を実施する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適正な維持管理などが行われた。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	継続的な発電により、下水道事業の経営改善につながっている。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし。
R4年度の目標	売電による収益が高位で推移するよう、継続的かつ安定的な発電を目指す。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		発電状況の監視を行う。日常的及び定期的な機器点検、及び適正な維持管理を実施する。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	年間送電量	kWh/年	目標値	3,135,000	3,783,000	3,119,000	3,534,300	3,995,000	目標値		
			実績値	3,362,000	3,669,000	3,605,000			達成年度		
			% 達成度	107.2	97.0	115.6					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		送電量は、年間の日平均流入量の影響が大きいため、最終目標値は設定しない。			
	本指標の設定理由	送電量を増加させることにより、売電収益を増加させる。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	年間発電量	kWh/年	目標値	4,013,000	4,308,000	3,736,000	4,158,000	4,754,000	目標値		
			実績値	4,041,000	4,350,350	4,305,130			達成年度		
			% 達成度	100.7	101.0	115.2					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		発電量は、年間の日平均流入量の影響が大きいため、最終目標値は設定しない。			
	本指標の設定理由	発電量を増やすことにより、CO2削減量を増加させる。									
	年間CO2削減量	t/年	目標値	2,147	2,304	1,973	2,195	2,510	目標値		
			実績値	2,134	2,297	1,645			達成年度		
			% 達成度	99.4	99.7	83.4					
	指標の種類	6.現状維持を目指す指標(減を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		年間CO2削減量は四国電力のCO2排出係数の影響が大きいため、最終目標値は設定しない。			
	本指標の設定理由	年間CO2削減量を把握することが目的。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	消化ガス発電設備の稼働率の向上と消化ガス発生量の増加に努め、前年度よりも発生量が減少したものの、わずかに目標値を上回った。									
	成果指標	年間CO2削減量は、四国電力の原発稼働状況等によるCO2排出係数の変動の影響が大きく、目標値を下回った。また、年間発電量は、消化ガス発電設備の稼働率の向上と、消化ガス発生量の増加に努めたことから、目標値を上回ることができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											